

農作物の被害予想と対策（寒害）

平成24年12月14日

環境農業推進課
産地・流通支援課

12月中旬～3月上旬

農作物名	被害予想	対策
1. 露地カンキツ ●日向夏等越冬カンキツ ●その他カンキツ	1. 果実の凍害（ヤケ、苦み、す上がり） 2. 樹体の凍害（凍結）	1. 寒冷紗や不織布等で被覆し、樹体が直接寒風にさらされることや樹体の凍結を防ぐ。特に幼木や改植後まもない若木は寒さに弱いいため、コモや不織布等で樹体を保護する等の防寒対策に努める。 また、かん水が可能な場合は、土壌の過乾燥を防止するようにかん水を実施する。 2. 防風垣や防風網を設置している場合は、裾の巻き上げ等を行い冷気の停滞を防止する。 3. 今後、収穫・出荷期を迎える中晩柑等においては、異常低温が予想される前に収穫適期の果実を収穫する。また、寒害等によりヤケ、苦み、す上がり等の果皮・果肉障害が発生した場合には、出荷時にこれらの果実の混入防止に細心の注意を払う。
2. その他常緑果樹 ●ビワ	1. 果実の凍害（凍結、ヤケ） 2. 障害果の発生（ハチマキ）	1. 通常の袋掛けの上にアルミ蒸着袋を重ね掛けする等、幼果の保温対策に努める。 2. 固形燃料の燃焼等によって障害回避に努める。なお、火災防止の観点から周辺環境に十分配慮すること。
3. 落葉果樹 ●ウメ	1. 蕾、花の凍害	1. 固形燃料の燃焼等によって障害回避に努める。なお、火災防止の観点から周辺環境に十分配慮すること。